

歩ける旧河道

わたらせえき 渡瀬駅の南にも、矢場川の旧河道が残っています(詳しくは「11 水運と村を守った三薬師」のページを見てね)。今回は、そこを歩いてみました。



どうろ 道路のわきに不自然な草むらをはつけん 発見。「なぜここだけ？」



近づいてみると、なんと、これは、2年生の国語の教科書にのっている「因幡の白うさぎ」で有名なガマじゃないか。

「ガマ君、そんな所^{ところ}にいたんか。会いたかったぞお」
ガマが生えているのは、湿地。線のように伸びている湿地^{しつち}ということは、旧河道^{きゆうか}では？



すいり わたし そう推理した私は、ふと後ろをふりかえってみた。すると、
「ん?!みぞのような道があるぞ。」
どうろ はんたいがわ 道路の反対側に、道のようなものがのびている。行ってみよう。



すると、何ということでしょう。旧河道がどこまでも伸びているではありませんか。なんとなく湿気っていたので、雨が降るとここに川ができるのかもしれませんが、または、水がわき出る場所かも…。そう思って道路にもどり、右見て…あっ!



道路わきに、館林市のおいしい水の水源「深井戸」がありました。やっぱりここ、地下水がわき出る場所のようです。

ということで、新たに3つ、わたらせの自慢を見つけました。

- ① 歩ける旧河道
- ② 珍しくなったガマが群生
- ③ 館林市の水源地「深井戸」

みなさんも、歩いて渡瀬地区のよさを探してみませんか。